

教 科	成 果	課 題
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 考えの根拠となる言葉や文を明確にしなが ら、登場人物の心情や場面の様子を読み取 る活動を楽しむことができた。また、読み 取ったことを生かし、声の調子や大きさな どを工夫して、人物や場面の様子を音読で 表現することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 言いたいことを、より分かりやすく、よ り詳しく伝えるための語彙や表現の仕方 を身に付けさせる。</li> <li>・ 大事な言葉や文を、過不足なく落とさず に書き抜くこと。</li> <li>・ 「はじめ・中・終わり」の組み立てに気 を付け、段落を付けて書くこと。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業に I C T を取り入れたことで、課題が 明確になり、ペアやグループで解決しよう とする児童が増えた。また、自分の考えを もち、説明しようとする様子が見られた。</li> <li>・ 計算スキルやたしかめプリントを活用し、 繰り上がりや繰り下がりといった計算技能 を身に付けることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文章題では、キーワードになる言葉に着 目させ、そこから考え立式できるような 指導をする。</li> <li>・ 長さや水のかさなどの量的な単位につい ては、単位量（1 c m ・ 1 m m ・ 1 d L ・ 1 L など）がどの程度のものなのかを 身近なものを使って確認していく。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手やめあてを意識することで友達と力を 合わせて活動に取り組むことができた。特 にすてき班活動では、一年生に楽しんでも らえるように工夫を考えたり、優しく接し てあげたりできた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小グループでの話し合いや発表会など、 友達と交流することで友達の考えのよい ところに気付くようにする。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歌いながら手拍子を打ったり身振りをし たりし、身体表現を通して曲のリズムを 表現することができた。</li> <li>・ 音楽を聴くと自然に体を動かしたり、旋 律を口ずさんだりした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 元気に歌うことが得意だが、いわゆる 「歌声」で歌うことが定着していないため きれいな歌声の発声の方法を身に付けさ せる。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の導入で学習の流れや作品のポイント を短く簡潔に説明したことで、創作活動に 集中して取り組むことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな発想や構想の仕方を他の児童 にも紹介し、アイデアを交流させる。 互いの作品の良さに気付かせながら、楽 しみながら作品作りに取り組ませるよう にする。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業の流れなどを掲示した共有ボードを活 用し、流れや運動などを説明し、児童にと って分かりやすい授業ができた。また、単 元設定や教師の言葉掛けを精選したことで 動きの幅が広がったり、運動を工夫したり するなどの創意工夫が見られた。</li> <li>・ 授業後、学習カードに記入することを続け たことで、学習の振り返りをする習慣が身 に付いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動経験が不足している児童には、基本と なる運動を経験し、達成感が味わえるよう な運動を多くできるようにする。</li> <li>・ 運動やゲームを通して、友達と協力した りお互いに意見を出し合ったりするなど 友達とかかわる機会を与え、誰とでも仲 良く活動する楽しさを味わえるようにす る。</li> </ul>